

### 事例3 「表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること」をねらった事例

- 学年 第3学年
- 主な領域 [思考力・判断力・表現力等] B 書くこと
- 事例のポイント
  - ①対象を分析して、説得力のある批評する文章を書くことができるようにする。
  - ②文章をお互いに推敲し合い、助言し合うことで説得力のある表現について考え、工夫して書くことができるようにする。
  - ③ICT端末を活用し、意見を整理したり文章を推敲したりする際に、グループや学級全体で共有することができるようにする。

#### 1 単元名・教材名 埼玉県ロゴマークを分析しよう 「多角的に分析して書こう」

#### 2 生徒の実態と本単元の意図

本学級の生徒は「書くこと」において根拠を明確にしながら自分の考えを伝えたり、説明や具体例を加えて自分の考えが伝わりやすい文章になるように工夫したりする学習を行ってきた。修学旅行と関連付けて旅行記を作成した際には、古典の学習を参考に、寺社仏閣について趣のある表現方法で表現ができたり、旅行で感じた感想を臨場感のある表現で伝えたりできる生徒の姿が見受けられた。一方で「〇〇がきれいだった」、「楽しかった」など、見た瞬間の感想をそのまま伝えるのみに終始してしまう生徒も見受けられた。その原因として、表現の仕方の乏しさに加え、情報を広い視野でとらえられていないことや根拠などを明らかにすることができていないことが考えられる。

本単元では、関心のある事柄について、より伝わりやすく批評する文章を書くことを目的としている。そこで、埼玉県県政150周年のロゴマークを取り上げ、ロゴマークから受ける印象について、説得力のある文章が書けるようにしていきたい。その際、勾玉を模したデザインや色の違いなど、それぞれの観点で分析しながら、考えの根拠となる部分を引用によって明確にする。

指導に当たっては、まず、ロゴマークから受ける印象をキャッチコピー、構成、製作者の意図等の観点別に分析し、ICT端末を活用しながら話し合いを通して多角的な意見を整理する。次に、資料を適切に引用するために客観性や信頼性の高い資料であるかを判断することや資料が伝えたいことと自分の考えについて補足することなどを意識しながら文章を書く。さらに推敲によって、より伝わりやすい書き方を吟味することで説得力のある文章を書くことができるようにしていく。

#### 3 単元の目標

- (1) 話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 <知識及び技能> (1)ウ
- (2) 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 <思考力、判断力、表現力等> B(1)ウ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 <学びに向かう力、人間性等>

#### 4 本単元における言語活動

関心のある事柄について、批評する文章を書く。

(関連：言語活動例B(1)ア)

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 (1)ウ	①「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 (B(1)ウ)	①粘り強く表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりして、学習課題に沿って自分の考えを書こうとしている。

## 6 指導と評価の計画（全4時間扱い）

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	<p>○学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>○教材文を読んで、批評する文章の基本的な構成をつかむ。</p> <p>編 P35 指導計画作成の留意事項(8)</p> <p>○ロゴマークについて分析し、観点ごとにまとめる。</p> 	<p>○批評する文章の基本的な構成(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考え、主張</li> <li>・一般論、現状、</li> <li>・引用、まとめ</li> </ul> <p>○分析の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピー</li> <li>・構図</li> <li>・製作者の意図 等</li> </ul> <p>事例のポイント③ 一人一台端末を活用し、意見を整理したり文章を推敲したりする際に、グループや学級全体で共有することができるようにする。</p>	<p>○対象とする事柄について、見た人により、受け取る印象が異なることを確認する。</p> <p>○批評する文章の例を基に、必要な情報や文章構成について考えられるようにする。</p> <p>【知識・技能①】 ノート ・ここでは、批評する文章の特徴を理解して、ノートにまとめられているかを確認する。</p> <p>○協働学習支援ツールを活用し、個人の分析を学級全体で共有する。</p> <p>分析する観点の例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチコピー 「明るい県民性」「自然が豊かな県」</li> <li>・構図 「勾玉」「色がたくさん使われている」</li> <li>・製作者の意図 「交わっている様子」「自然との共生」</li> </ul> <p>事例のポイント① 対象を分析して説得力のある批評する文章を書くことができるようにする。</p>
2	<p>○ロゴマークに関する自分の考えの支えとなる資料を探す。</p> <p>編 P35 指導計画作成の留意事項(7)(8)</p> <p>○文章の構成を考える。</p>	<p>○引用の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引用する資料</li> <li>・適切な資料の選び方</li> </ul> <p>○出典の示し方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本・資料(書名・著者名)</li> <li>・ウェブサイト(サイト名)</li> </ul>	<p>○自分の考えを支える根拠として適切かどうかという視点をもたせて、引用する資料を検討させる。</p> <p>【思考・判断・表現①】 ノート(資料) ・ここでは、自分の考えを支えるための客観性や信頼性の高い資料を選んでいるかを確認する。</p> <p>○前時の学習を想起させ、批評する文章の基本的な構成を確認する。</p>

<p>3</p>	<p>○構成メモを作成し、助言し合う。</p> <p>事例のポイント② 文章をお互いに推敲し合い、助言し合うことで説得力のある表現について考え、工夫して書くことができるようにする。</p> <p>○表現や言葉遣いに注意しながら下書きを書く。</p>	<p>○表現の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現</li> <li>・言葉遣い</li> </ul>	<p>○構成メモは、手書きでも文書作成ソフトへの入力でも生徒の実態に合わせて選択することができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 構成メモ・下書きの文章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、自分の考えを伝えるために、表現の仕方を工夫して書いているかを確認する。</li> </ul>
<p>4</p>	<p>○下書きの文章について助言し合い、推敲する。</p> <p>事例のポイント② 文章をお互いに推敲し合い、助言し合うことで説得力のある表現について考え、工夫して書くことができるようにする。</p>	<p>○表現の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現</li> <li>・言葉遣い</li> </ul> <p>○引用の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張を支える根拠となる資料</li> <li>・客観性、信頼性</li> </ul>	<p>○推敲の観点を提示し、自分の考えを伝えるための表現と引用の適切さについて助言し合えるようにする。</p> <p>○推敲は、ワークシートへ直接書き込む方法かICT端末を活用して入力する方法かのいずれかを、生徒が選択できるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現①】 清書した文章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、助言を受けたことを参考にし、自分の考えを分かりやすく伝える文章にしているかを確認する。</li> </ul>
<p>〈ICT端末を活用した推敲の例（友達の助言）〉</p> <p>赤：使いたい表現 青：直したい表現 緑：自分とは違う表現</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>この広告の一番の注目点は、「水色」であると思うだろう。</p> <p>「水色」という一見どこにもある着色のように感じるが、埼玉県にいる人の地元を愛する心が明るく強く表れているように感じられるデザインである。また、その形は勾玉を模しているところも埼玉県に住む人にとって親しみやすい雰囲気を感じさせる。</p> <p>製作者はこのデザインで、県の特徴である川の広さや、川に育てられているという意識を伝えたかったのではないだろうか。</p> <p>実際に埼玉県には川が多く、私たちも荒川の恩恵を受けて育ってきた。</p> <p>そんな埼玉県の埼玉を愛する心を強く印象付けるように「水色」でデザインしているのではないだろうか。</p> <p>この広告で他県の人にも埼玉は水に恵まれた街であることを知ってほしい。</p> <p>根拠資料からの引用があるといね。</p> </div> <p>○助言を踏まえて文章を再構成し、清書する。</p>			

## 7 本時の学習指導（4/4時間目）

### (1) 目標

- 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 〈思考力・判断力・表現力等〉 B(1)ウ

### (2) 評価規準

- 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 【思考・判断・表現】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点	時間
1 前時の学習を振り返り、本時の課題を確認する。		<p>○本時の流れを確認し、学習の見通しをもたせるようにする。</p> <p>○前時に作った構成メモを確認させる。</p>	5
2 下書きの文章について助言し合い、推敲する。	<p>表現の仕方や引用の仕方に注意して文章を書こう。</p> <p>○表現の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現</li> <li>・言葉遣い</li> </ul> <p>○引用の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張を支える根拠となる資料</li> <li>・客観性、信頼性</li> </ul>	<p>○ワークシートに手書きでもしくは端末上に描画ツールで書き加えていく。</p> <p>赤：使いたい表現 青：直したい表現 緑：自分とは違う表現</p> <p>引用の仕方 表現の仕方</p>	20
事例のポイント② 文章をお互いに推敲し合い、助言し合うことで説得力のある表現について考え、工夫して書くことができるようにする。	<p>編P35 指導計画作成の留意事項(8)</p> 	<p>実際に埼玉県には川が多く、私も荒川の恩恵を受けて育ってきた。</p> <p>根拠資料からの引用があるといいね。</p> <p>この広告の一番の注目点は、「水色」であると思うだろう。</p>	
3 より良い表現を考えて清書する。	<p>事例のポイント②</p> <p>文章をお互いに推敲し合い、助言し合うことで説得力のある表現について考え、工夫して書くことができるようにする。</p>	<p>【生徒の文章（清書）から一部抜粋】</p> <p>この広告の一番の注目点は、「水色」であると思われる。</p> <p>「水色」という一見どこにもある着色のように感じるが、埼玉県にいる人の地元を愛する心が明るく強く表れているように感じられるデザインである。また、その形は勾玉を模しているところも埼玉県に住む人にとって親しみやすい雰囲気を感じさせる。</p> <p>製作者はこのデザインで、県の特徴である川の広さや、川に育てられているという意識を伝えたかったのではないだろうか。</p> <p>実際に埼玉県には川が多く、「県土における川の流域面積の割合は約四パーセントと全国二位である。」（埼玉県ホームページ・二〇二〇年）</p> <p>そんな埼玉県民の埼玉を愛する心を強く印象付けるように「水色」を使用してデザインしているのではないだろうか。</p> <p>この広告で、他県の人にも埼玉は水に恵まれた街であることを知ってほしい。</p>	15
4 本時のまとめをする。			5
《期待される生徒の反応》 文章の内容に合わせて主張を支える適切な根拠を見つけたり文末の表現を工夫したりすることで伝わりやすい文章にすることができる。		<p>【思考・判断・表現①】</p> <p>清書した文章</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここでは、助言を受けたことを参考にし、自分の考えを分かりやすく伝える文章にしているかを確認する。</li> </ul> <p>〈努力を要する状況(C)への手立て〉</p> <p>加筆された部分を一緒に確認し、言葉を変えたり付け加えたりできる場所はないかを考えるように促す。</p>	
5 学習の振り返りをする。	<p>《期待される生徒の振り返り》</p> <p>主張したいことに適した根拠を文献から引用することで、自分の考えを支えることができる。これから面接試験などで自分の考えを述べる時も誰かの言葉を引用すると今よりも説得力のある受け答えができるのではないかと思います。</p>	<p>○できるようになったことから、気が付いたこと、これから生かしたいことなどを振り返らせ、次への見通しをもたせる。</p>	5